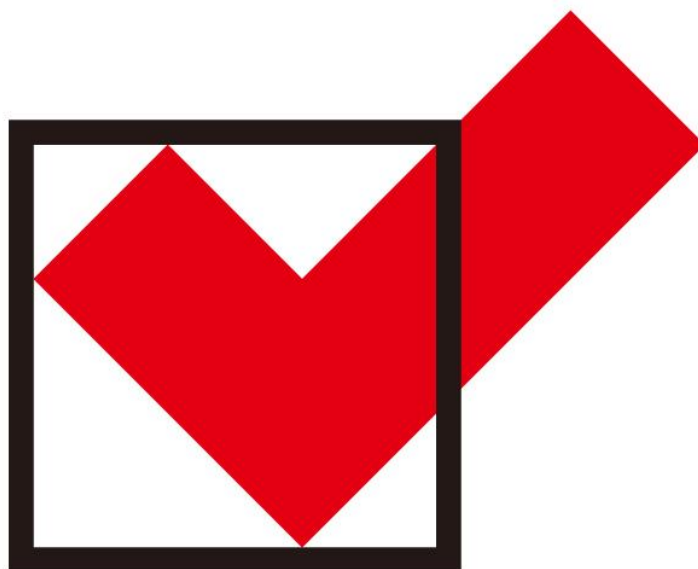


「ACTION!防災・減災」プロジェクトのご案内

実施期間：令和8年3月1日～31日



ACTION! 防災・減災

——— 命のために今うごく ———

災害は、突然やってきます。

ひとりでも多くの命を救うために、日本赤十字社は皆さまとともに、災害に備えるための活動、「ACTION! 防災・減災」をはじめています。

このプロジェクトは、未来に目を向け、「災害への備え」の大切さについて一緒に考えることで、一人ひとりが自分ごと化し、自身や家族、大切な人の命を救う具体的な行動（ACTION）を起こすきっかけづくりを目指した取り組みです。

どうか今、あなた自身や家族、大切な人たちの命をどう守るのか、考えてみてください。

災害時にあなたの、そして大切な人たちの命を守るのは、今のあなたの行動です。

「ACTION！防災・減災」プロジェクトへのご参加のお願い

①特設WEBサイトのURL及びバナー画像掲載によるご参加のお願い

このプロジェクトは、東日本大震災が発生した3月を中心に、未来に目を向け、「災害への備え」の大切さを働きかけ、日本全体で防災意識を高めるムーブメントを起こす取り組みです。

社会や貴社内で防災意識の更なる醸成を図るため、貴社のWEBサイト、SNS、社員向けサイト等で、ACTION！防災・減災の特設WEBサイトのURL（<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>）を掲載いただき、情報発信にぜひご協力をお願いいたします。特設WEBサイトでは、「災害への備え」という行動（ACTION）を働きかけるコンテンツを2月20日(金)から順次掲載(予定)です。

「Action！防災・減災」特設WEBサイト 掲載中コンテンツ（2月20日から順次追加掲載予定）



プロジェクトにご参加いただける企業・団体様には、貴社のWEBサイト等でご使用いただける「ACTION！防災・減災」のバナー画像（特設WEBサイトへのリンク用）をご提供いたします。



②赤十字活動資金ご協力によるご参加のお願い

プロジェクトの趣旨にご賛同いただける企業・団体様におかれましては、活動資金へのご協力についてもあわせてご検討いただきたくお願い申し上げます。お寄せいただきましたご寄付は、防災・減災をはじめとする日本赤十字社の命を守る活動に活用させていただきます。

また、本プロジェクトに際し、新規に5千円以上のご寄付のあった企業・団体様には、「ACTION! 防災・減災」特設WEBサイトに貴社のロゴを掲載し、貴社WEBサイトにリンクを設定させていただきます。

① 1/23（金）17時までの参加申込分→2/20（金）掲載

② 2/2（月）17時までの参加申込分→3/2（月）掲載

③ポスター掲示ご協力によるご参加のお願い



ACTION! 防災・減災の実施期間中、日本赤十字社では“備える力”を高める活動の普及促進を強化いたします。ポスター掲示により、社員や関係者の皆様へ赤十字活動の周知にご協力いただけるようでしたら、大変有難く存じます。ポスターはB3サイズをご用意いたします。

※数に限りがございますので、1社につき1枚、先着順とさせていただきます。

◀ポスターイメージ

（※左画像を使用しての無断利用は固くご遠慮願います）

日本赤十字社は、突然やってくる災害に備えて活動しており、災害時には医療チームの派遣や救援物資の配布を行っております。また、日頃からの備えも日本赤十字社の大切な活動であり、防災セミナーや救急法等の講習などを通じて、命を守るために必要な知識と技術を私たちは広めています。

こうした活動を続けていくため、日本赤十字社の活動にご支援ご協力のほど何卒お願いいたします。

ご参加方法は、どれか1つだけでも構いません。本プロジェクトにご参加いただける場合は、別紙の「参加申込書」を下記のメールアドレスまでお送りください。皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ

日本赤十字社 千葉県支部 総務部 振興課 法人会員係
TEL : 043-241-7531 FAX : 043-248-6812
Email : shinko@chiba.jrc.or.jp

前年度プロジェクト参加企業・団体数 **184社**

日本赤十字社は令和7年3月1日から31日まで、「ACTION！防災・減災—命のために今うごく—」を実施しました。

このプロジェクトは、未来に目を向け、「災害への備え」の大切さについて一緒に考えることで、一人ひとりが自分ごと化し、自身や家族、大切な人の命を救う具体的な行動（ACTION）を起こすきっかけづくりを目指した取り組みです。



災害に備えて“今”何ができるかという視点を持って、自分自身や家族のいのちを守るために、速やかに適切な避難行動をとる必要があることから、「いのちを守る適切な避難行動」をテーマにしました。

また、特設サイトでは、避難時に思わずしてしまう判断のミスや迷いをチェックできる「避難あるある図鑑」を公開しました。また、幅広い年齢層に人気のある雑誌「anan」とコラボした防災バッグの中身に関する記事「What's in My 防災バッグ？」も掲載。

特設サイトの閲覧数は29万を超えるなど、多くの方々にいのちを守る適切な避難行動を知っていただく機会となりました。

**赤十字は、
動いてる!**

 **SAVE365**



日本赤十字社  @JRCS_PR · Mar 1
＼赤十字は、動いてる！／



自分と大切な人の命を守るように、
必要なのは「いま備えること」。

日本赤十字社は、命を守るための知識や
技術を365日、各地で広め続けています。

動画では、[#上白石萌音](#) さんが「地震が
来た時に命を守りやすい部屋作り」を...
[Show more](#)



12 245 1.2K 61K

WEBCM動画では実際に設置された家具や家電を使って上白石萌音さんが地震の際に危険な場所を日本赤十字社の職員とともに確認。「倒れてキケン」「動いてキケン」「落ちてキケン」「割れてキケン」「飛んでキケン」のシールを家具や家電に貼り、安全対策を施すことでけがを防ぎ、在宅避難も一つの避難方法であることを学ぶ内容になっています。

本プロジェクトに連動し、全国の日赤支部ではさまざまな活動が催されました！

秋田県支部では、湯沢市立稲川中学校を会場に、全校生徒、地域住民、地区の消防・警察など、総勢200人が参加する研修の中で、赤十字防災セミナーを実施しました。

避難所生活をカードゲーム形式でシミュレーションする「ひなんじょ たいけん」を通して、避難所における自助・共助の重要性を学びました。

グループは学生と地域住民の混合で編成され、生徒と住民が一体となって防災意識を高めることができました。地域の代表者は、「いつ起こるか分からない大規模災害に備える大切さが分かった」と感想を語りました。

秋田県



学生と地域住民が一体に
赤十字防災セミナー

山口県



子どもと一緒に楽しく防災！
親子防災教室開催

山口県支部では、県内の親子を対象とした防災教室を開催しました。

当日は、11組30人の親子連れが参加し、クイズやゲームを通して地震や大雨などの災害について学んだほか、非常食の試食や、三角巾を使った応急処置体験なども行いました。

参加した子どもたちからは、「地震のときにどうすればよいか分かった」「非常食がおいしかった」といった感想が聞かれました。また、保護者からも、「子どもと一緒に防災について学べてよかった」などの声が寄せられました。

**本プロジェクトに賛同し、ご参加いただきました皆さまに
心から御礼を申し上げます。**